幼児教育コースだより

2023年 8月
No. 14

高知大学教育学部
幼児教育コース 発行

地域子育て支援広場 あそぼーや を再開しました

2019年度より、「あそぼーや」「あそぼーや2」は高知大学公式SNSを通して情報を発信しております。

facebook ⇒

５期生卒業おめでとうございます！

2022（令和4）年度卒業の幼児教育コース5期生は11名です。11名全員が保育士・幼稚園教諭・保育教諭として就職します（高知県6名・広島県２名・香川県1名・福岡県1名・徳島県１名）。1月25日の就職報告会では、後輩のみなさんへ、採用試験に向けた勉強のコツやおすすめの参考書、二次試験の情報や対策を報告してくれました。（写真は卒論発表会での一コマです）。

卒業生のコメントは次ページに掲載しています。

１～４年生４１名でコースオリエンテーションを実施しました。

2023年4月4日（水）9時から教育学部51番教室で、対面でのコースオリエンテーションを行いました。新入生10名を迎えて、今年度の幼児教育コースの学生は総勢41名となりました。

コースオリエンテーションでは、幼児教育コースの授業カリキュラム、行事等のスケジュールなどについて説明がされました。教員から授業履修などの説明を受けた後は、先輩からも学生目線でのアドバイスをもらいました。

また、今年は5月24日（水）17時から、全学年揃っての新歓ミーティングを行い、親睦を深めることができました（写真は2023年度入学の１年生が、５月にはじめて開催したあそぼーやの様子です）。

5期生の思い出と抱負

○ 令和4年度卒業の５期生がゼミごとに、大学での思い出や春からの抱負を寄せてくれました

三ツ石ゼミ

春から社会人ということで、学生生活が終わり新しい環境で過ごすようになることに楽しみな気持ちもありつつ、少々不安な気持ちでもあります。ですが、あそぼーやなどに向け仲間達と何度も話し合いを重ねて指導案を作成するなど、粘り強く努力を続けてきた経験を生かして、現場でも学び続け成長していきたいです。

そして、幼児教育コースでできた素敵な同期達との絆を大切に、離れた場所にいても、学生の頃と同じように切磋琢磨していきたいと思います。（小松・中越・増田）

玉瀬ゼミ

玉瀬先生にたくさんの助言を頂きながら、無事に卒業することができました。お茶目な玉瀬先生のおかげでいつも楽しいゼミの時間を過ごせました。みんなで意見を言い合って培ってきたそれぞれの研究内容を心に留め、保育現場で取り入れることができるよう努めていきたいと思います。

春からも、5期生11人で励ましあいながら、初心を忘れず保育に真摯に向き合い頑張っていきます。（加用・野口・前田・山本）

川俣ゼミ

思い出は卒論執筆です。ゼミの時間外でもゼミ生で集まり、時には何時間も頭を悩ませながらお互いの論文に意見し合いました。川俣先生も歩みの遅い私たちの為に、忙しい中、個別にゼミを開いてくださり、友達にも先生にも支えられていると実感できる温かいゼミでした。自分が大変でも相手の為に時間を使える、そんな素敵な人が集まっているゼミだったと思います。これからも、川俣ゼミのような助け合える関係を築いていきたいです。

（岡田・塩見・土居）

幼児安全法講習を実施しました

幼児教育コースでは、３年次に、日本赤十字高知支社の指導員の方を招いて、幼児安全法講習を受けています。講習では実技を中心に、幼児・乳児それぞれの心肺蘇生法や、気道異物除去法、AED使用方法などを学びます。

自動車教習所で成人の救助者を想定した一時救命処置講習を受講済みの学生は多いものの、乳児・幼児の心肺蘇生法を学ぶのは全員がはじめてになります。

救急の現場では判断に迷っているうちに命が失われかねないことなどを事例とともにお話しいただきながら、実際に身体を動かして実技に取り組むことで、学生たちには『もし自分が、保育現場で一次救命処置が必要な場面に遭遇したら…』と、自分事として捉える意識も生まれるようです。（写真は上が2022年度、下が2023年度の講習の様子です）

あそぼーやの紹介

地域子育て支援広場「あそぼーや」は幼児教育コース学生が保育実践を学ぶ場でもあります。長らくのコロナ禍で実現できなかった地域のお子さんを招いての「あそぼーや」ですが、2022年後期からやっと再開しました。

コロナ禍で2年以上、地域のお子さんを招いての開催を見送ってきた子育て支援広場「あそぼーや」ですが、2022年後期は、1年生、2年生、４年生、それぞれが１回ずつ、計３回開催しました。

トップバッターとなったのは、子どもたちを招いての「あそぼーや」開催経験のなかった２年生で、2022年11月30日「どんぐりたちのおみせやさんまつり」をテーマに、粘土で作るパンやさん、空のペットボトルなどでボーリングをするゲームやさんといったお店ごっこで子どもたちを迎えました。

パン作りに熱中する子や、全部のお店を回った子など、お子さんそれぞれに楽しんでもらえたようです。開催後の学生の振り返りでは、実際に子どもたちに接する体験からの学びの多さを実感したという声が多く聞かれました。

12月9日には、「ぐりとぐらになりきってカステラを作ろう！」というテーマで、４年生が学びの集大成となるあそぼーやを開催しました。

ぐりとぐらの絵本を読んだ後、子どもたちはぐり・ぐらになりきり、ホットケーキづくりごっこに挑戦しました。

輪投げや釣りなどのゲームをしてホットケーキの材料を集め、園庭に準備した薪を拾ったら、かまどに特大のフライパンをかけます（右側写真）。

子どもたちはすっかり絵本の世界に入り込み、出来上がった画用紙のホットケーキにも大満足。４年生がこれまで培ってきた力が十二分に発揮されたあそぼーやでした。

3月30日には、1年生が年度最後となるあそぼーやを開催しました。テーマは「みんなでちょうちょになって遊ぼう！」。子どもたちは学生手作りの羽を背中につけ、ちょうちょになりきってお散歩やゲームを楽しみました。準備に充分な時間をかけ、リハーサルを繰り返して本番を迎えた学生たちの頼もしい様子に、保護者のみなさまからも感心の声が聞かれました。

（2022年度） 学校インターンシップⅠ

2022年度からは、１年次から教育現場を経験する、“学校インターンシップⅠ”が本格的に始動しました。

コロナ禍で教育現場での実施が見送られてきた『学校インターンシップⅠ』が、2022年度の後期から本格的に始動しました。

幼児教育コースの１年生は、附属幼稚園で、預かり保育支援や教材づくり、園内清掃や環境整備、保育観察など、様々な体験をしました。

環境整備や園内清掃では、子どもと過ごす以外にも、様々な業務が保育者の仕事に含まれることを体験し、そういった業務でも「保育者としての意図」をもってあたることの重要さを学びました。

教材づくりでは、子どもたち自身の試行錯誤や発想を引き出すために、保育者が色々な工夫をしていることを知り、前期の授業で学んだ子どもの主体性を尊重する保育や、環境整備の重要さについて、さらに理解が深まりました。

また、実際に子どもたちと触れ合う預かり保育支援では、こどもたちの様々な行動に戸惑ったり、先生方の関わり方や、自分たちが向き合っているときとは異なる先生方への子どもたちの反応に触れたり、それぞれ多くの学びがあったようです。

地域子育て支援広場あそぼーやのご案内（2023年度）

開催予定	申込期間
10/ 20（金）	10/ 6 ― 10/ 13
11/ 10（金）	10/ 27 ― 11/ 3
11/ 29（水）	11/ 15 ― 11/ 22
12/ 8（金）	11/ 24 ― 12/ 1
12/ 22（金）	12/ 8 ― 12/ 15
1/ 24（水）	1/ 10 ― 1/ 17

高知大学教育学部の子育て支援広場「あそぼーや」下期は2023年、以下の日程で開催予定です。

対象は、高知市近郊在住の未就学児とその保護者です（お子様だけでのご参加はご遠慮ください）。時間、場所、参加費等、詳細は高知大学教育学部ホームページをご覧ください（左記QRコードよりご覧いただけます）

高知大学教育学部 幼児教育コース
〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1 TEL 088-844-8368

本誌タイトルロゴ：高知大学 吉岡一洋

令和５年度 教育学部長裁量経費の助成を受けて制作